

著者紹介

有村 博紀 (正会員)

1990年九州大学大学院総合理工学研究科修士課程修了。同大学院システム情報科学研究科助教授などを経て、2004年から北海道大学大学院情報科学研究科教授、博士(理学)。計算学習理論とデータマイニングの研究に従事。

上田 和紀 (正会員)

1978年東京大学工学部計数工学科卒業。現在早稲田大学理工学部コンピュータ・ネットワーク工学科教授。工学博士。専門はプログラミング言語、並行・並列計算など。第7回日本IBM科学賞など受賞。2004年より「コンピュータソフトウェア」誌編集委員長。

占部浩一郎

1982年通商産業省入省。2000～04年6月まで、CICC シンガポール (JETRO シンガポール) に赴任。アジアに対するIT協力、IT動向の調査などを担当。

鹿島 久嗣

1999年京都大学工学研究科応用システム科学専攻修了(修士)。同年より、日本アイ・ピー・エム(株)東京基礎研究所にて勤務。バイオインフォマティクスや自律コンピューティングの研究に従事。機械学習論の理論・応用に興味を持つ。

喜田 拓也 (正会員)

2001年九州大学大学院システム情報科学研究科博士後期課程を修了。同大附属図書館研究開発室専任講師を経て、2004年から北海道大学大学院情報科学研究科助教授、博士(情報科学)。

喜連川 優 (正会員)

東京大学生産技術研究所教授。2003年より同所戦略情報融合国際研究センター長。1983年東京大学大学院工学系研究科情報工学博士課程修了、工学博士。データベース工学を利用した巨大サイバースペースの解明に関する研究に興味を持つ。

工藤 拓 (正会員)

1999年京都大学工学部電機電子工学科卒業。2001年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了。2004年同大学院博士後期課程修了。同年よりNTTコミュニケーション科学基礎研究所リサーチアソシエイト、工学博士。統計的自然言語処理、テキストマイニング、機械学習に興味を持つ。2001年本会山下記念研究賞受賞。

新保 仁 (正会員)

1994年京都大学大学院工学研究科修士課程電気工学第二専攻修了。1997年同大学院工学研究科博士後期課程情報工学専攻指導認定退学。博士(工学)。現在、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助手。

鈴木英之進 (正会員)

昭和40年生。昭和63年東京大学工学部卒業。平成5年同大学院工学系研究科博士課程

修了。博士(工学)。同年東京工業大学工学部情報工学科助手。平成8年横浜国立大学工学部電子情報工学科講師を経て、平成9年より同助教授。平成9、14年度人工知能学会論文賞受賞。平成15年度会誌基礎・理論WG主査。DS-2004国際会議PC Chair。データマイニング、機械学習など人工知能に関する研究に従事。人工知能学会、AAAI、ACM、IEEE各会員。

竹内 純一 (正会員)

1989年東京大学理学部物理学科卒業。同年NECに入社し、機械学習、データマイニングの研究に従事。1996年博士(工学)取得。1996～97年Yale大学客員研究員。現在、NECインターネットシステム研究所主任研究員。

塚本 克治 (正会員)

工学院大学情報工学科教授。1967年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。NTT入社。通信網、計算機ネットワーク、ソフトウェア工学の研究・マネジメント、研究戦略企画に従事。ソフトウェア基礎技術研究部長等を歴任。1974年論文工学博士(京都大学)。1999年より現職。現在、計算機工学、ネットワーク、ディベンダビリティ、プロジェクト管理等の研究に従事。著書「通信システムプロトコル」等。電子情報通信学会、IEEE、ACM各会員。
E-mail:tsukamoto@tsukaken.jp
<http://WWW.tsukaken.jp>

寺田 実 (正会員)

1981年東京大学工学部計数工学科卒業。同大助手、電気通信大学助手、東京大学助教授を経て、2002年より電気通信大学情報通信工学科助教授。工学博士。プログラミング、対話的システムに興味を持つ。

豊田 正史 (正会員)

東京大学生産技術研究所特任助教授。1999年東京工業大学情報理工学研究科博士後期課程修了。博士(理学)。Webマイニング、情報可視化、ユーザインタフェース、ビジュアルプログラミングに興味を持つ。

中島 秀之 (正会員)

1983年東京大学情報工学専門課程修了(工学博士)。マルチエージェントならびに複雑系の情報処理とその応用。電子技術総合研究所、産業技術総合研究所サイバースペース研究センター長を経て現在は公立はこだて未来大学学長。産業技術総合研究所情報技術研究部門研究顧問。

ひろのかずお

1963年大阪外国語大学仏語科卒業。大阪市立大学・慶應義塾大学に学ぶ。日本ユニバック(現日本ユニシス)・CSK・情報技術開発(TDI)を経たが、この間、人工知能・認知科学・インターネット分野で広範囲に活動。現在、(株)プロファイル、イー・カルチャー(株)の顧問、NPOデジタル情報産業振興会(ADI2)理事、NPO・CEO企画担当。

牧野 友紀

日本ユニシス(株)ビジネスイノベーション本部。異種プラットフォーム間非同期メッセージング・ミドルウェアの設計・開発、企業間のWebサービス連携システムの構築を多数手がける。現在、SOAをベースにした分散システム統合アーキテクチャの策定、適用に向けた方法論の開発に従事する。XMLコンソーシアム・エバンジェリスト。

松尾 和洋 (正会員)

東京大学大学院物理学専攻博士課程修了後、University of California, San Diego (UCSD)に留学。富士通入社後は、国際情報社会科学研究所、富士通研究所を経て、現在Fujitsu Laboratories of America, Inc., Senoir Vice President & College Park 研究所長。理学博士。人工知能学会理事、日本神経回路学会理事、Neural Network誌 Acting Editorを歴任。Maryland 大学客員教授を兼務。
E-mail:kmatsuo@fla.fujitsu.com

丸山 祐子

2000年東京大学工学部計数工学科卒業。2002年同大学院修士課程修了。同年NECに入社。現在、NECインターネットシステム研究所勤務。データマイニングに関する研究に従事。

森崎 修司 (正会員)

平成13年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。同年(株)インターネットイニシアティブ入社。博士(工学)。インターネットを介したシームレスな知識共有に興味を持つ。EPC GlobalにてICタグに関する標準仕様策定活動に従事。

安村 通晃 (正会員)

東京大学理学部物理学科卒業。同大理学系大学院博士課程満期退学。日立製作所中央研究所主任研究員を経て、1990年より慶應義塾大学環境情報学部助教授。現在同教授。理学博士。ヒューマンインタフェースの研究に従事。

山西 健司

1987年東京大学工学系大学院計数工学専攻修了。同年NECに入社。情報論的学習理論、データマイニングの研究に従事。1992年博士(工学)取得。1992～95年NEC Research Institute, Inc.にVisiting Scientistとして出向。現在、NECインターネットシステム研究所主席研究員。

鷲尾 隆 (正会員)

1988年に東北大学にて工学博士を取得。同年、米国マサチューセッツ工科大学にて客員研究員。1990年より三菱総合研究所勤務。1996年から大阪大学産業科学研究科助教授。現在、科学的知識発見やデータマイニング、機械学習の研究に従事。



会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、10月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。

まず、特集「音声情報処理技術の最先端」に対しましては、多くのコメントをいただきました。

■今回取り上げられた音声情報処理技術では、ユーザの発した文章からユーザの意図をくみ取ることが要求される。そうなると結局のところ自然言語処理の問題となってコーパスを利用するなどして地道に精度を上げていく必要があると感じた。人間同士の会話においても聞き間違いや、意思疎通がうまくいかないことがあるので、ある程度の精度が上げられれば実用には十分であると思う。実際の会話において、人間は瞬時に相手の語勢や表情なども認識して判断している結果として精度が高いのだから、そのような情報の利用による精度の向上を期待する。(片山聡一郎)

■音声情報処理は古いようでまだまだ新しい技術であると改めて教えられた。昨今の携帯電話の普及により、音声情報処理の需要がまた多く出てきたようだ。特に、疑人化音声対話エージェントの記事は、大変興味深い。対話する相手が機械でも、表情があると人間らしく感じられ、会話も楽しい。(匿名希望)

■「話し言葉における言い直しの処理」：話し言葉においては、記述された文章と違って文法的に完結していない表現がされることが常だが、その中でも「言い直し」に対する構文、意味内容の特定のための努力には涙ぐましいものがあると感服した。まるで、推理小説の手法を見ているようだ。(匿名希望)

■音声情報処理技術が発達して、将来コンピュータのデータ入力がキーボードから音声に変われば大変喜ばしいことだと感じた。(松田昭信)

■ノイズや話し言葉、言い直しの問題など、コンピュータによる理想的な音声認識の実現がいかに複雑で困難であるかということがよく分かった。同時に、人間がいかに高度な音声情報処理の能力を持っているかを改めて認識させられた。また、その音声認識の研究課題に対するさまざまな試みが体系的に示されており、とても参考になった。コンピュータが人間に合わせる人間中心の音声技術のさらなる向上を期待する。(匿名希望)

■1, 2, 3番目の記事は少々重かったが、基礎理論を簡潔適切に記述していて大変参考になった。(山崎竹視)

■音声情報処理技術の最先端は、面白そうだが、専門外の者には

少し難しそうな内容だった。今月は時間が取れなかったが、じっくりと読んでみたい。(匿名希望)

■数式が多く記述されている特集記事が多く、素人には読みにくい特集であった。数式を用いないと説明しづらいのかもしれないが、なるべく数式を使わずに説明してほしい。(匿名希望)

コラム「アメリカITまわりの話題：センサネット」に対しては、次のような感想が寄せられました。

■面白かった。コンセプト図に示されているように、そのカバーエリアは、人間の営為全般に渡り、かつ、動物等自然界にも及ぶと考えられる。ここでも、個人情報保護法が、顔を出すのだろうか。(雪野 清)

■消防隊員にセンサネットを取り付けるアイデアなどは、非常に良いと思った。隊員が二次災害に巻き込まれたとき、隊員の救出等に役立つと思う。(匿名希望)

コラム「情報技術と教育：“Double Major”時代の大学院教育」に対しては、次のコメントをいただきました。

■自分も「長い間開発畑にいて最近法律の世界に踏み込んだ」という経歴を持っているだけに非常に興味深く読んだが、たとえば「大学時代理工学系を専攻していて、大学院はロースクールに進む」という選択肢は、まさしく本稿で言う“Double Major”に相当するのではないかと。確かに種々の技術分野において、その分野の技術を理解する法律家が数多く要請されている。(匿名希望)

■大学院レベルのDouble Majorよりも、複数の学部で学んだ方が基礎から体系的に学ぶことができるように思う。私自身も学士入学によって、2つのディシプリンを学んだ。JABEEでは学部レベルでの教育が重視されつつあることを考えても、基礎から体系的に学ぶことができる学士入学が見直されてもよいと思う。(水野光朗)

コラム「アジアIT事情：アジアにおけるIT事情(ASEAN諸国の状況・2)」に対しては、次のコメントをいただきました。

■ミャンマーの事例は、興味深かった。最近、政変が起きたので、今後どのようなIT戦略を採るのか関心がある。(水野光朗)

■興味深い記事であった。もう少し掘り下げて各国の技術的課題や特殊性、我が国との関連を知りたいと思う。(西川 宝)

コラム「20世紀の名論名著：The UNIX Time-Sharing System」に対しては、次のコメントをいただきました。

■懐かしく読んだ。最近はごくたまにLinuxを使うが、タイプするコマンドは、20数年前にUNIX Version 7を使っていた頃とあまり変わらない。UNIXの基本は良くできていると、いまさら感心する。
(匿名希望)

■オープンソースのOSの価値はやはり学習に対する効果だと思う。その意味で本論文は現役の学部や院生にも価値のあるものだ。
(匿名希望)

その他の記事にもコメントをいただきました。

■解説「SoftEtherの内部構造」：今まさに注目されている技術の、開発者本人による解説なので、大変興味深く参考になった。学生や若手研究者に対して、大いに刺激になったと思う。
(匿名希望)

■連載「Webサービス：ビジネスで使うWebサービス」：毎号楽しく読んでいる。本誌の中では気楽に読める読み物の部類に属するが、読みながらあれこれとアイデアが湧いて楽しい。
(山崎竹視)

■コラム「インターネット生活向上委員会：メールサービスの利用」：迷惑メールを取り扱っている私にとって、とても興味を引く。受身的な対処を中心に書かれていたが、警察や団体への通報など

悪用者と積極的に対決する方法についてもっと言及していれば良いと思った。
(匿名希望)

会誌の編集に関しては、次のようなコメントをいただきました。ありがとうございます。

■次号の予定が「電子社会を推進する暗号技術」とのことで、非常に楽しみにしている。半年分ぐらいの特集記事の予定が決まっていれば、この分野ならここが聞きたいという意見が出せて良いと思う。
(匿名希望)

■ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)について取り上げてほしい。
(匿名希望)

■スポーツや学習などの人間の能力を高める分野において情報処理の視点から見ると、どのような課題があるのかを知りたい。
(片山聡一郎)

■産業界で使用されているOSの堅牢性や安全性、信頼性等の技術に関するテーマを希望する。
(菅原宏之)

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。
よりよい会誌を作るために、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

【本欄担当 鈴木 貢, 伊藤敏彦/書評・ニュース分野】

ご意見をお寄せください！！

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>
でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。
掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。
あらかじめご了承ください。

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4601.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記 Web ページにも掲載しております。
<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	平成16年度研究開発奨励賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/researcher/h16boshu.html	1月20日(木)		
	論文誌「量子計算と量子情報」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/si03.html	1月31日(月)		
	東海支部「平成16年度学生論文奨励賞」論文募集 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/tokahome.html	3月10日(木)		
	論文誌「ブロードバンド・ユビキタス・ネットワークとその応用」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-D.html	5月9日(月)		
	論文誌「ユビキタス社会におけるコラボレーションサービス」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-C.html	5月20日(金)		
1月18日(火)～ 1月19日(水)	ハイパフォーマンスコンピューティングと 計算科学シンポジウム (HPCS2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-HPCS2005.html	9月30日(木)	1月7日(金) 当日可	東京大学 山上会館
1月19日(水)	第14回 高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/QAI14.html		当日のみ	大阪大学
1月19日(水)～ 1月20日(木)	第121回 マルチメディア通信と分散処理・ 第54回 グループウェアとネットワークサービス合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS121GN54.html	11月19日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所 サイバースタディーズ研究センター
1月20日(木)	第99回 アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/AL99.html	11月19日(金)	当日のみ	東京大学医科学研究所
1月20日(木)～ 1月21日(金)	第135回 データベースシステム・第10回 放送コンピューティング 研究グループ 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DBS135BCC10.html	11月26日(金)	当日のみ	遠鉄ホテルエンパイア
1月20日(木)～ 1月21日(金)	2005年情報学シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI2005.html	9月27日(月)	1月7日(金) 当日可	日本学術会議講堂
1月20日(木)～ 1月21日(金)	第147回 コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CVIM147.html	10月31日(日)	当日のみ	京都大学
1月20日(木)～ 1月21日(金)	第52回 プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO52.html	11月20日(土)	当日のみ	NTT 厚木研究開発センター
1月21日(金)	チュートリアル「事例から学ぶプロジェクト・マネジメント」 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ISTUTO.html		1月14日(金)	日本IBM 箱崎事業所
1月21日(金)	第153回 計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ARC153.html	11月15日(月)	当日のみ	共済会館八汐荘 (那覇市)
1月25日(火)～ 1月26日(水)	第118回 システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SLDM118.html	11月17日(水)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月28日(金)	第48回 デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DD48.html	11月19日(金)	当日のみ	化学会館会議室 (御茶ノ水)
1月28日(金)	第65回 人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CH65.html	11月19日(金)	当日のみ	広島市立大学
1月28日(金)	第112回 ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HI112.html	11月19日(金)	当日のみ	NTTドコモ R&Dセンター イタリア(トレント)
1月31日(月)～ 2月4日(金)	SAINT2005 2005年インターネット応用国際会議 http://www.saint2005.org			
2月4日(金)	東海支部専門講習会「ユビキタスコミュニケーション技術」 開催案内 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		定員になり次第	ルブラ王山(名古屋市)
2月4日(金)～ 2月5日(土)	第55回 音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SLP55.html	12月3日(金)	定員になり次第	愛知県 南知多温泉
2月7日(月)	第118回 グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CG118.html	12月8日(水)	当日のみ	富士通本社(汐留)
2月22日(火)～ 2月23日(水)	第98回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/OS98.html	12月17日(金)	当日のみ	香川大学
2月28日(月)～ 3月1日(火)	インタラクティブ2005 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-HI2005.html		2月14日(月) 事前登録	学術総合センター 一橋記念講堂
3月1日(火)	第13回 ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/GI13.html	12月24日(金)	当日のみ	東京大学教養学部
3月1日(火)～ 3月2日(水)	第3回 「ネットワーク生態系と空間デザイン」 http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/3rd_webology.html	1月17日(月)		東京工科大学
3月2日(水)～ 3月4日(金)	第67回 全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/67kai/index.html		2月10日(木)	電気通信大学
3月3日(木)～ 3月4日(金)	第148回 コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CVIM148.html	12月25日(土)	当日のみ	千葉大学
3月7日(月)～ 3月9日(水)	第154回 計算機アーキテクチャ・第101回 ハイパフォーマンス コンピューティング合同研究発表会 (HOKKE-2005) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ARC154HPC101.html	1月5日(水)	当日のみ	北海道大学 学術交流会館 小講堂
3月10日(木)～ 3月11日(金)	第20回 高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ITS20.html	12月20日(月)	当日のみ	国際電気通信基礎技術 研究所
3月14日(月)～ 3月16日(水)	第139回 知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS139.html	1月14日(金)	当日のみ	北海道 定山溪ビューホテル
3月15日(火)～ 3月16日(水)	第91回 情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS91.html	12月17日(金)	当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月17日(水)～ 3月18日(金)	第32回 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MBL32.html	1月14日(金)	当日のみ	玉川大学

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月17日(水)～	第53回プログラミング研究発表会	1月17日(月)	当日のみ	東京工業大学
3月18日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO53.html			大岡山キャンパス
3月18日(金)	第36回分散システム/インターネット運用技術研究発表会	12月17日(金)	当日のみ	東京農工大学
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM36.html			
3月19日(土)	第27回電子化知的財産・社会基盤研究発表会	1月14日(金)	当日のみ	大阪市立大
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EIP27.html			梅田サテライト
3月22日(火)～	第122回マルチメディア通信と分散処理・	1月14日(金)	当日のみ	大阪大学
3月23日(水)	第28回コンピュータセキュリティ合同研究発表会			吹田キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS122CSEC28.html			
3月25日(金)	第78回情報学基礎・	1月25日(火)	当日のみ	化学会館会議室
	第49回デジタル・ドキュメント合同研究発表会			(御茶ノ水)
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI78DD49.html			
4月4日(月)～	The 7th International Symposium on Autonomous	9月15日(水)		Chengdu, China
4月6日(水)	Decentralized Systems (ISADS2005)			
	http://isads05.swjtu.edu.cn/index.htm			
5月18日(水)～	先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2005	1月17日(月)		つくば国際会議場
5月20日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SACSIS2005.html			
5月30日(月)～	20th IFIP International Information Security Conference	11月15日(月)		幕張メッセ
6月1日(水)	(SEC2005)			
	http://www.sec2005.org/			
9月7日(水)～	FIT2005 第4回情報科学技術フォーラム			中央大学
9月9日(金)～	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2005/			後樂園キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 12月15日 1月号から Web でも人材募集情報を掲載いたします
- 12月10日 第67回全国大会 聴講参加・講演論文集予約受付開始

[学会からのお知らせ]

- 11月26日 平成16年度論文賞候補論文推薦のお願い

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

* 都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

* 本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375

* 原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

* 人材募集広告は会誌と同時にオーム社発行月刊誌「コンピュータ&ネットワーク LAN」にも掲載されます (料金の追加はありません)。ただしオーム社側の掲載については字数などの関係から大幅に編集されることをご了承ください。

* 特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■会津大学

募集人員 (a) 助教授 1 名 (CS04008) (b) 教授 1 名 (CH04004) (c) 教授 1 名 (IST04001)
 所属 (a) 情報基礎論講座 (b) コンピュータ産業学講座 (c) 情報センター
 応募資格 (a) <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCH.html> 参照 (b) <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCH.html> 参照
 (c) <http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/ISTC.html> 参照
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 17 年 1 月 31 日 (必着) * 書類はすべて英文で提出のこと
 照会先 (a) E-mail:cs04008@u-aizu.ac.jp (b) E-mail:ch04004@u-aizu.ac.jp (c) E-mail:ist04001@u-aizu.ac.jp

■呉工業高等専門学校電気情報工学科

募集人員 教授または助教授 1 名
 専門分野 情報工学全般
 応募資格 採用予定時の年齢が 59 歳未満の方, 博士の学位を有する方, 高専教育に熱意のある方
 着任時期 平成 17 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 著書・論文リストなど, 主要な著書・論文の別刷 (コピー可) および概要, 研究成果および教育実績 (1000 字程度) ならびに着任後の教育・研究に対する抱負 (1000 字程度), 推薦書 (所定様式を <http://www.kure-nct.ac.jp> よりダウンロードすること)
 応募締切 平成 17 年 2 月 9 日 (必着)
 送付先 〒737-8506 広島県呉市阿賀南 2-2-11 呉工業高等専門学校庶務課人事係 Tel(0823)73-8405
 * 郵送の場合は封筒に「電気情報工学科教員応募」と朱書し簡易書留
 照会先 電気情報工学科主任 教授 植田義文 E-mail:ueda@kure-nct.ac.jp Tel(0823)73-8470 Fax(0823)73-8474

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

募集人員 助教授 1 名, 助手 1 名 (いずれも任期付き)
 所属 情報構造理論講座
 専門分野 ゲーム情報学またはエンタテインメントに関する基礎理論とその応用にかかわる分野。特に, コンピュータゲーム (探索, 学習, 最適化など) を含む知の創造の手法および応用
 応募資格 博士の学位を有し, 上記分野の研究および教育に熱意を有する方
 着任時期 平成 17 年 5 月 1 日以降のなるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 研究歴, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (5 編以内, コピー可), これまでの研究の概要 (2000 字程度), 今後の研究計画 (2000 字程度), 教育への抱負 (2000 字程度), 照会者 2 名の連絡先 (メールアドレスを含む)
 応募締切 平成 17 年 2 月 11 日 (当日消印可)
 送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美郡辰口町旭台 1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 島津 明
 E-mail:shimazu@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1215 Fax(0761)51-1149 (事務室) 「教員応募書類在中」と朱書し書留
 その他 詳細は, 本学 Web ページ (<http://www.jaist.ac.jp/index-j.html>) をご覧ください

■カーネギーメロン大学 (CMU) 情報大学院日本校

募集人員 日本校専任教員 (情報セキュリティ修士課程) 2名
 応募資格 (1) 情報セキュリティ分野博士号取得または教育・研究上これに準ずる業績 (最低3年以上) を有すること (専門性重視) (2) CMU本校で2学期間 (約8カ月) 研修後, CMUの承認を経て, 講義および課題研究の指導が可能であること (3) 国籍不問.ただし, 英語・日本語いずれでも講義可能な語学力を有すること
 着任時期 平成17年4月下旬 (平成17年5月からCMU本校で研修)
 提出書類 1.履歴書, 2.著書リスト, 3.学会等での活動実績, 4.教育研究実績書, 5.推薦書 (最低2通), 6.研究概要と今後の抱負・研究目標, 7.学術論文 (最良3部, コピー可), 8.TOEFLまたはTOEICスコア (1~7は日本語・英語各1通ずつ提出)
 応募締切 平成17年2月12日 (必着) *応募される場合は, 1月中に下記送付先まで事前に連絡願います
 送付先 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県情報セキュリティ課 主幹 (教育担当) 戸田 康
 E-mail:johosec@pref.hyogo.jp Tel(078)362-3379 Fax(078)362-9027
 その他 詳細は以下のWebページをご覧ください
http://web.pref.hyogo.jp/johosec/cmuj/cmuj_index.htm, <http://www.ini.cmu.edu/academics/MSIT-ISJapan/index.htm>
【任期】: 3年 (再任する場合は2回 (各1年) まで更新可能) **【勤務地】**: JR神戸駅前 **【給与等】**: 任期制による特別加算適用

■マレーシアの工科大学

募集人員 IT/IS Professional Chair 1名
 専門分野 Information Technology / Information System
 職務内容 Chairは承認された研究プロジェクトを引き受けることにより, IT/IS分野における同大学のイメージを向上させることを期待する. 同時に上記の目的のために, 同大学の大学院生で構成される約5名の研究者チームの監督, 指導にあたる.
 応募資格 (1) 工学博士 (IT/IS分野) の資格を有し, 教授として5年以上経験を有する方 (2) IT/IS分野で大学/民間を問わず20年以上の有経験者で, 大学院レベルの研究の指導の十分な経験を持ち, かつ優秀な論文の発表実績のある方. 国際レベルの会議やセミナーにて論文発表実績のある方が望ましい (3) Chair在職中はマレーシアでの滞在が可能な方 (家族帯同相談. 休暇および承認された公務を除く) (4) 英語での指導ができる, 十分な語学力 (公用語は英語) を有している方 (5) 十分な経験を有したIT/IS産業 (民間企業) の研究者については応相談
 着任時期 平成17年7月
 提出書類 履歴書, 専門誌に掲載された, また, 会議やセミナーで発表された, すべての研究発表・プロジェクト・論文のリスト, 大学での資格証明書, 職歴書
 応募締切 平成17年2月15日
 送付先/照会先 〒100-8086 東京都千代田区丸の内2-6-3 三菱商事 (株) マレーシア事業ユニット Tel(03)3210-6071 Fax(03)3210-8005
 岩本 修 E-mail:osamu.iwamoto@mitsubishicorp.com 西脇篤子 E-mail:atsuko.nishiwaki@mitsubishicorp.com
 *郵送またはメールにて送付のこと
 その他 在マレーシアの常勤となります
【任期】: 2~3年 **【スポンサー】**: 三菱商事 (株) がマレーシアに設立した三菱商事教育基金より拠出

■電気通信大学電気通信学部情報工学科

募集人員 助教授 1名
 所属 計算科学講座, 大学院電気通信学研究科博士 (前期・後期) 課程を兼任
 担当科目 学部教育では, 計算科学, 特に数値計算と計算理工学分野の講義と卒業研究指導を, 大学院では, 高性能科学技術計算分野に関する講義と大学院生の研究指導をしていただきます
 専門分野 高性能科学技術計算の基礎と応用分野
 応募資格 博士の学位を有し, 最新のコンピュータ工学の成果を計算科学の発展に役立てる上で必要な知識と研究能力を持ち, 科学技術計算 (計算理工学: 計算物理, 計算流体力学, など) および応用数学 (数値計算法, 他) にも十分な素養がある方. 年齢は, 50歳程度以下とします
 着任時期 平成17年4月1日以降の早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト (著書, 学術雑誌論文 (査読の有無を明記), 国際会議Proceeding, 招待講演を含めた主要研究発表, 特許など, に分類して記載. なお, 印刷中や投稿中のものはその区別を明記し, 雑誌採録決定済みで掲載予定のものはその旨を示す文書のコピーなどを添付してください), 主要論文別刷 (5編, コピー可), 主要な研究業績の概要と外部資金獲得状況・今後の研究計画 (1500字程度), これまでの教育経験と今後の教育面での抱負 (1000字程度), 推薦書2通 (書式自由)
 応募締切 平成17年2月21日 (必着)
 送付先/照会先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学電気通信学部情報工学科計算科学講座 講座責任者 加古 孝
 E-mail:kako@im.uec.ac.jp Tel(0424)43-5342 (ダイヤルイン) 「計算科学講座教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 *応募書類は返却いたしません
 その他 詳細は, 計算科学講座Webページ (<http://www.im.uec.ac.jp/Japanese/>) をご覧ください
 選考の過程で, 応募者について意見を聞くために照会状を送ることができる国内と国外の (上記推薦書の記載者を含めた) 適切な方の氏名と連絡先を提供していただくことがあります. また, 応募者がしぼられた段階で, 本学にて面接を行うことがあります

■電気通信大学電気通信学部情報工学科

募集人員 教授 1名
 所 属 計算機応用学講座
 担当科目 人工知能論, 自然言語処理論, その他
 専門分野 人工知能, 自然言語処理
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院博士後期課程の研究指導ができること, 研究・教育・学科運営に熱意があること
 着任時期 平成17年4月1日以後のなるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(次のように分類: 1. 著書 2. 査読付き雑誌論文 3. 国際会議論文 4. 以下としてその他の論文, 招待講演, 解説, 特許, 外部資金獲得状況など), 主要論文別刷(5編, コピー可), 研究・教育に関する業績の概要と今後の計画(A4用紙2枚以内), 本人の所見が得られる方の名前と連絡方法(4名程度)
 応募締切 平成17年2月21日(必着)
 送 付 先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学電気通信学部情報工学科 学科長 岩田茂樹
 「計算機応用学講座公募書類」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却しません
 照 会 先 情報工学科計算機応用学講座 教授 野下浩平 E-mail:noshita@cs.uec.ac.jp *郵便またはメールで連絡してください

■埼玉大学工学部情報システム工学科

募集人員 (a)教授 (b)教授または助教授(または講師) 各1名 *以下, 特記のないものは(a), (b)とも共通
 専門分野 情報システム工学関連分野。ただし, (b)は着任直後から最低3年間程度, 埼玉大学総合情報基盤機構情報メディア基盤センターにて, 教育研究にあわせて「全学の基幹ネットワークや計算機システムなどの学内情報基盤の整備運用」の業務に携わっていただきます
 担当科目 情報システム工学に関する専門科目
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院の研究を指導できる教育に熱意のある方。ただし, (b)は大学情報処理センターなどの勤務経験も評価に加えます
 着任時期 平成17年10月1日より以前のなるべく早い時期
 提出書類 扉書(応募種別(希望順位), 応募職格, 氏名, 所属, 連絡先住所, 電話番号, メールアドレスを明記のこと), 履歴書, 業績リスト, 代表的論文別刷(業績リストから5編, コピー可), 主要研究業績概要(業績リストと対応させてください), 今後の教育・研究計画, 推薦書2通, 本人について問合せのできる方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成17年2月28日
 送付先/照会先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学工学部情報システム工学科学科長 吉田紀彦
 E-mail:yoshida@ics.saitama-u.ac.jp 「教員応募書類」と朱記し書留 * 応募書類は返却いたしません
 そ の 他 書類様式など詳細はWebページ(<http://www.ics.saitama-u.ac.jp/boshu/>)をご覧ください
 書類選考の後, 必要に応じて面接を行います

■京都産業大学理学部コンピュータ科学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 知能メディア, 知能システム, ヒューマンインタフェースなどの分野
 応募資格 博士の学位を有すること, 着任時の年齢が35歳位まで
 着任時期 平成17年9月もしくは平成18年4月
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文・著書, 研究業績概要, 研究計画, 教育実績と教育の抱負, 研究資金獲得状況一覧, 応募者について参考意見を伺える方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成17年3月10日(必着)
 照 会 先 コンピュータ科学科 主任 竹内富士雄
 E-mail:cs-koubo@cc.kyoto-su.ac.jp Tel(075)705-1626 (研究室), (075)705-1463 (事務室) Fax(075)705-1640
 そ の 他 詳細についてはWebページ(<http://www.sci.kyoto-su.ac.jp/cs/koubo/>)をご覧ください

■九州大学大学院システム情報学研究院

募集人員 教授 1名
 所 属 情報工学部門情報回路および信号処理講座
 専門分野 情報通信基礎、信号処理・学習などの情報数理分野
 応募資格 博士の学位を有し、上記の専門分野で顕著な研究業績を上げ、関連する研究領域において思考力・問題解決能力のある人材の育成ができる55歳未満の方。なお、工学部電気情報工学科を兼任していただきます
 着任時期 平成17年度のなるべく早い時期(遅くとも平成18年4月)
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(著書、雑誌掲載論文、国際会議、論文、解説などに区別)、主要原著論文別刷(5編以内、コピー可)、これまでの研究/教育業績・活動の概略(1500字程度)、研究・教育に関する抱負および計画(2000字程度)、照会可能者2名の氏名と連絡先 *以上の書類を各2部
 応募締切 平成17年3月31日(必着)
 送 付 先 〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1 九州大学大学院システム情報科学研究院情報工学部門 福田 晃
 E-mail:fukuda@f.csce.kyushu-u.ac.jp Tel(092)583-7624 Fax(092)583-1338 「応募書類在中」と朱書し簡易書留
 *応募書類は返却いたしません
 照 会 先 〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学大学院システム情報科学研究院情報工学部門 香田 徹
 E-mail:kohda@csce.kyushu-u.ac.jp Tel(092)642-4043 Fax(092)642-4082
 そ の 他 詳細についてはWebページ(<http://www.isee.kyushu-u.ac.jp>)をご覧ください

■熊本大学工学部電気システム工学科

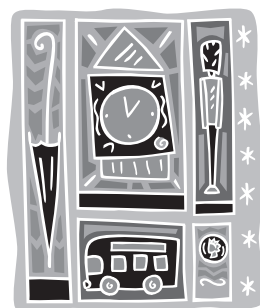
募集人員 教授 1名
 所 属 電子通信システム講座
 専門分野 情報通信工学、特に光エレクトロニクス工学、マイクロ波・ミリ波工学とそれらの関連分野
 担当科目 電磁気学、電気回路、情報通信工学の基礎および応用に関連した科目
 応募資格 博士あるいはPh.D.の学位を有する方(50歳程度までが望ましい)
 着任時期 平成17年7月1日(予定)
 提出書類 履歴書(メールアドレスを連絡先欄に記入)、研究業績リスト(研究論文、国際会議論文、講演発表、著書、教育歴、取得外部研究費(科学研究費、産学連携共同研究費、各種助成金など)、特許取得、その他に分類し、共著者はすべて記入のこと)、主要論文別刷(10編以内、コピー可)、現在までの研究概要と将来の抱負(1000字以内)および学生への教育に対する抱負(1000字以内)、など
 応募締切 平成17年3月31日(必着)
 送付先/照会先 〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 熊本大学工学部電気システム工学科 学科長 村山伸樹
 E-mail:murayama@eecs.kumamoto-u.ac.jp Tel(096)342-3841 Fax(096)342-3630 「教授応募書類在中」と朱書し簡易書留
 * 提出書類は返却いたしません

■北海道大学大学院情報科学研究科

募集人員 教授 1名
 所 属 システム情報科学専攻 システム融合情報学講座
 専門分野 電力ネットワークなどの大規模システムの解析、計画、制御およびその信頼性、経済性、最適性などのための情報学的手法に関する研究分野
 担当科目 研究科ではシステム統合学特論、システム情報科学特別演習、システム情報科学特別研究第一、第二、学部ではシステム工学基礎、電送回路、電力システム工学、パワーエレクトロニクス、システム工学演習、システム工学実験などの分担
 応募資格 博士の学位を有し、研究および教育に積極的であり、学生の指導に熱意のある健康な方。50歳未満の方が望ましい
 着任時期 平成17年7月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書(本籍、現住所、連絡先(電話番号、メールアドレス)、学歴(高等学校卒業以降)、職歴、学位、所属学会、賞罰を記入)、業績目録(査読付き論文、その他の論文、国際会議等発表論文、著書・総説、解説に分類して記載。受賞、学会活動、従事した研究プロジェクト(科学研究費を含む)、その他の社会貢献などに区分して記載)、科学研究費補助金などの外部資金取得状況など。
 平成17年4月11日(必着)
 送 付 先 〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学研究科 工学部総務課人事係 Tel(011)706-6156
 郵送の場合は、「システム融合情報学講座教員応募書類(No.16-14)」と朱書し書留 *応募書類は原則として返却しません
 照 会 先 情報科学研究科システム情報科学専攻システム創成情報学講座 金子俊一
 E-mail:kaneko@ssi.ist.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6755 Fax(011)706-6755
 そ の 他 詳細については、<http://www.eng.hokudai.ac.jp/> あるいは <http://www.ist.hokudai.ac.jp/job/> を参照のこと

■産業技術総合研究所生命情報科学研究センター（CBRC）

- 募集人員 (a) 産総研特別研究員（ポスドク） (b) テクニカルスタッフ 各若干名
 職務内容 バイオインフォマティクスの研究開発
 専門分野 応募資格を参照
 応募資格 (a) 【タイプ1】：バイオインフォマティクスの研究経験がある博士号既得者。かつ将来当分野の研究リーダーとなるために必要な素養を身に付けることを目的としながら、当研究センターで研究を行う方 【タイプ2】：バイオインフォマティクスの研究経験不問。他の分野で優れた研究経験があり、分野を転向して生命情報科学の研究に従事する熱意のある方
 (b) 【タイプ1】：生物系、理学系、工学系大学・修士卒以上。バイオインフォマティクスの研究経験があること。30歳程度まで
 【タイプ2】：高度なプログラミングのスキルを持ち、バイオインフォマティクスの研究現場で研究者と協調してソフトウェア開発を行える方。35歳程度まで
 着任時期 応相談
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、志望動機
 応募締切 通年
 送付先／照会先 E-mail: info@cbrc.jp Webページ: http://www.cbrc.jp/ *応募はメールにてのみ受付。テキスト形式にて送信のこと
 その他 【勤務地】：東京都江東区青海2-43 青海フロンティアビル17階（2月中旬に新設・臨海副都心センター別館（青海2-42）へ移転予定）または東京都江東区青海2-41-6 産総研 臨海副都心センター *所属チームによって異なります
 (a) 【時給】：1,900～3,000円（委細面談） 【任期】：現在原則2年（平成17年度から2年以上になる可能性あり）
 (b) 【時給】：1,700～3,000円（委細面談） 【任期】：更新制



会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。

最近この目的をはずれ、「広告、諸勧誘、商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが、このような行為は厳重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも、再利用されることのないようご注意願います。

また、上記不正利用にあてはまらない場合でも、受け取った相手が不愉快な思いをされないよう、節度を持った利用をお願いいたします。

当会では、現在会員名簿を発行しておりません。

平成 17 年度会誌モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会

会誌「情報処理」をよりよくするために編集委員一同努力を続けておりますが、会誌についての会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。

関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 会誌毎号の本誌巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) から、毎月アンケートに回答する。

- 記事に対する評価
- 記事に対する感想・意見
- 記事テーマの提案
- そのほか全般的な意見・提案など

注) 会誌の記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として1年間とします。

対 象 号 会誌 46 巻 4 号～ 47 巻 3 号

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 平成 17 年 2 月 28 日 (月) 必着 * 申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

平成 17 年度会誌モニタ申込書

宛先：情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 (歳)

業種：(a) 企業 (b) 企業 (c) 研究機関 (d) 教育機関 (e) 学生 (f) その他

職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教官 (大学・大学院) (h) 教職員 (i) 学生 (j) その他

ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピューティング

河村一樹 編著
 A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ
情報と社会

駒谷昇一 編著
 A5判/220頁/本体2,500円(税別)



好評既刊書

ITText **コンパイラとバーチャルマシン**

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
 A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText **コンピュータアーキテクチャ**

内田啓一郎・小柳 滋 共著
 A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText **コンピュータグラフィックス**

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著
 A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText **応用Web技術**

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
 A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText **コンピュータネットワーク**

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
 A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText **認知インタフェース**

加藤 隆 著
 A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText **音声認識システム**

鹿野清宏・伊藤克巨・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
 A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)



ITText **プログラム仕様記述論**

荒木啓二郎・張 漢明 共著
 A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText **エージェント工学**

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
 A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText **情報と職業**

駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明 共著
 A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText **ヒューマンコンピュータインタラクション**

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
 A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText **アルゴリズム論**

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
 A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText **オペレーティングシステム**

野口健一郎 著
 A5判/240頁/本体2,800円(税別)

IT Text **ソフトウェア開発**

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
 A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText **データベース**

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
 A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText **基礎Web技術**

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
 A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText **ソフトウェア工学演習**

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
 A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText **知識マネジメント**

大澤幸生 編著
 A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText **情報リテラシー**

海野 敏・田村恭久 共著
 A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText **情報セキュリティ**

宮地充子・菊池浩明 編著
 A5判/280頁/本体3,000円(税別)

書評・会議レポート募集のお知らせ

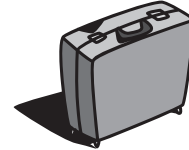
情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評 : 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



3. 応募の手続き

- 1) 表題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名(会議レポートの場合は筆者名)・所属・評者連絡先(住所、E-mail、Faxなど)の記載を忘れずに。
- 3) 本文: 書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>)を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会/応募先 (社)情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

情報処理学会からののお知らせ

情報処理学会電子図書館は BookPark に 移行しました

まずはユーザ登録を!

<http://www.bookpark.ne.jp/ipsj/>

BookParkに情報処理学会発行の出版物(会誌、論文誌、研究報告、欧文誌、英文誌)が載りました。創刊号から最新号まですべてのデータを収蔵。

情報処理学会会員の方は、無料*で閲覧することができます。

*BookParkで新たにユーザ登録を行っていただく必要があります。

*該当する出版物を購読されている方に限ります。また、会員の方でも会費や購読費が未納の場合、有料となる場合があります。

一般の方でも1編から購入することができますので、ぜひご利用ください。



昨年は3月に本部事務局が田町からここ御茶ノ水・化学会館に移転するという一大イベントとともにあわただしく始まりました。

移転直後は馴れないことが多く、委員会にご出席予定の委員の方から「…今、田町にいます」というお電話を何度となくお取次ぎしました。また、夕方6時30分以降は通用口インターホンからの呼び出しで館内に入っていただくことになっていますが、なぜかうまく呼び出しできず、せっかくお越しいただいたのに中に入れなかった委員の方もいらっちゃったと漏れ聞きました。

当時、事務局員は業務に支障があってはならぬと緊張しながら必死で対応しておりましたが、皆様にはご不便をおかけしたことでしょう。しかし今こうして笑って話せるようになったの

も、一重に多くの関係者の方々のご協力のおかげと、感謝の気持ちに耐えない1年でした。

私が担当している総務業務は、事務局員の人事労務にかかわる事務、選奨関係の委員会お世話、代表会員・役員選挙のお手伝い、など多岐にわたり、仕事は秋から年末・年始にかけて集中します。そのためか、じっくり1年を振り返る余裕がありません。

このような忙しさは多少辛くも思いますが、学会の明日に希望を託しながら、与えられた担務をまっとうしていきたいと年頭にあたり思うものです。

皆様のご健康とご活躍をお祈りしつつ、本年もどうぞよろしくお願ひします。

(新田美子/管理部門)



■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	edit@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム
国 際	intl@ipsj.or.jp		国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。
 [募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]
 * なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

ご意見をお寄せください！

【2月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4601.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 9-
10. 今月号 (2005年1月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a …大変参考になった b …よい c …普通、どちらとも言えない d …悪い e …読んでいない]

特集：最新！データマイニング手法

データストリームのためのマイニング技術	10-1-
データスカッシング	10-2-
グラフベースデータマイニングの基礎と現状	10-3-
カーネル法による構造データマイニング	10-4-
統計的異常検出3手法	10-5-
自然言語処理におけるマイニング技術の応用	10-6-
大規模 Web アーカイブからのデータマイニング	10-7-
セキュアシステム設計技術	10-8-
Web サービス：ビジネス環境と実装システムを繋ぐ BPM と SOA	10-9-
インターネット生活向上委員会：Web ページのチェックを効率的に	10-10-
20 世紀の名著名論：C. A. R. Hoare: Communicating Sequential Processes	10-11-
20 世紀の名著名論：Donald A. Norman: The Psychology of Everyday Things	10-12-
アジア IT 事情：台湾の IT 事情	10-13-
アメリカ IT まわりの話題：医療現場の情報化	10-14-
日本の IT 事情：新年、夢追い IT 人の想い	10-15-
情報技術と教育：情報通信と情報処理	10-16-
プログラム・ブロンナード：サイコロパズル	10-17-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

世の中でデータマイニングといったときのバブル的(?)な響きは、一時期に比べて減ってきているように感じる。いわゆる流行り言葉ではなくなっている感がある。

では、もうデータマイニングは要らないのか?というところ、依然としてデータは増え続ける一方であり、それらから役に立つ知識を発見したり、処理/解析を自動化したりという需要は今後も一層増え続けるだろう。また、データマイニング技術はもう成熟したのか?というところ、氾濫するデータを、より効率的に、リアルタイムに解析する技術の重要性は今後もどんどん増していくことは間違いないだろうし、テキストやプロセス、あるいは企業の活動といった、必ずしも従来の形式で捉えられるとは限らない、より抽象的なあやふやなものをデータとして捉える必要性もあるだろう。また、セキュリティやコンプライアンス、システム障害検知/解析などとい

ったテーマはデータマイニング技術が重要な役割を果たす分野として非常に有望であろう。

これまでのデータマイニング分野の発展には日本人がかなりの貢献をしてきており、国際会議やワークショップの発表や運営にもそれらは反映されている。本特集が、読者の方々が現在のデータマイニングの最新動向を捉え、願わくはこの分野に新たな発展をもたらしていただくのに少しでも役立つことができれば幸いである。

最後に、今回の特集で執筆をお願いした方々には、ご多忙な中、快く引き受けていただき、また、素晴らしい解説を執筆していただいた。また、関係者の方々には色々な面で支えていただき、非常にお世話になった。この場をお借りして深くお礼を申し上げたい。

(鈴木英之進、鹿島久嗣/本特集エディタ)

次号(2月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」ポストゲノム時代に高まるバイオ自然言語処理への期待：バイオ自然言語処理最新事情

語る科学へ向けて/遺伝子変異データベース構築のための情報収集と抽出の現状/大規模プロテオミクスからバイオ NLP に望むこと/生命科学文献からの知識抽出と辞書構築/バイオ NLPのためのコーパスと各種リソースの現状/ゲノムデータの機械解釈/バイオ NLPにおける機械学習の利用/ポストゲノム時代のためのテキストマイニングミドルウェア/連想統合による医学・生物学知識の活用ソリューション/バイオ医療情報からの疾患関連因子抽出システムについて

解説

アクセシビリティの現在と展望 - JIS 化とその影響 - 渡辺隆行 他
サイバーサイエティを実現する仮想網技術の動向 今瀬 真

連載 Web サービス/プログラム・プロムナード

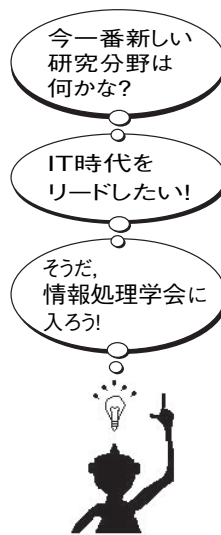
コラム アジア IT 事情/アメリカ IT まわりの話題/インターネット生活向上委員会/欧州の IT 技術とビジネス/情報技術と教育/20 世紀の名著名論/日本の IT 事情

会員募集中!!

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、
あなたのお役に立ちます。

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

〔R〕<学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright by clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo
107-0052, Japan
E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp
Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744
<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A4 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。